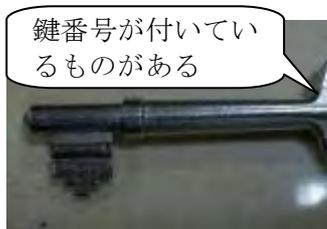


治安情報（自宅の鍵で気をつけること）

1. 合鍵を使った家宅侵入未遂事件

- (1) 昼間、邦人の方が自宅アパートに在宅中、玄関ドアの鍵を何者かに開けられる事件が発生しました。幸い、ドアの内側に別の南京錠をかけていたので、侵入を防ぐことができました。
- (2) 開けられた鍵はUNIONキーと呼ばれるタイプであり、同じ鍵で、ドアの両側の鍵穴から開錠及び施錠することができるのですが、鍵の信頼度という点から次のような欠点があります。
- ア 鍵の構造が簡単で、一つの鍵で他の同じ種類の鍵が開くことがある。
- イ 鍵固有の番号さえわかれば、鍵本体が無くても鍵屋で作成することができる。
- ウ 鍵自体の構造が単純な作りのため、鍵本体から複製しやすい。



UNIONキー（例）



錠（鍵穴）



鍵番号の表示（外側）

- (3) 事件の起きたアパートは、本来、外両開き扉につける錠を内両開き扉に付けていたため、家の内側に表示してあるはずの鍵番号が、家の外側から確認できるようになっていました。
- (4) 犯人は、外から確認できる鍵番号で合鍵を作製したか、構造の似通った鍵を使って開錠したと考えられます。
- (5) 邦人は、大家に対して事件の原因となった外側にある鍵番号を示し、一定の自己負担をしたものの、UNIONキー以外のキーに取り替えてもらうことができました。

2. UNIONキーがついている場合

次のような対策が考えられます。

- (1) 鍵を別のタイプのもので交換するか、別のタイプのを追加設置する。
- (2) 鍵穴をふさぐ鍵（Keyhole Blocker）を使用し、合鍵を差し込めないようにする。扉の厚さはそれぞれ違うため、中に埋まってしまう場合もあるが、使用可能。



Keyhole Blocker をつけたところ



Keyhole Blocker(Nakmat で、455ksh)

- (3) ドアの内側と外側に南京錠を設置する。
- (4) 内側に「かんぬき」又は「ドアチェーン」を設置する。かんぬきはドア埋め込み型が強い。



ドア埋め込み型かんぬきの例

3. その他

以下の点に御注意下さい。

- (1) 前住居者の鍵の管理状況が確認できないため、アパート入居の際、可能であれば鍵を交換してもらおう。
- (2) 特にサービスアパートなど、管理人が鍵を持っているアパートの場合、部屋の中にいるときだけでもかけることができる内鍵、かんぬき、ドアチェーンを付ける。
- (3) 寝室にも内鍵、かんぬき、ドアチェーンをつける。
- (4) 鍵の強度

ア Padlock (南京錠)

(ア) 鍵を差し込まなければ、鍵がかからないタイプが強い。

(イ) 本体の外側に継ぎ目などが無いものが強い。

イ ドアにつける錠

(ア) 量販店で販売している3,000シリング程度のものは金属の強度が劣っており、設置の際に失敗することがある。信頼のおけるものは鍵の専門店 (Mohinder Lock Systems Ltd. Next to The Stanley Hotel, Standard Street 020-2212165,2210666 等) において1万円前後で購入できる。

(イ) 錠の寸法等は、タイプ別にほぼ決まっており、同じタイプのものであれば、ドア等に対して穴を開けたりする追加工事をせずに取り付けられる。

ウ 鍵のコピーのしにくさ。

(ア) 側面に穴があるなど複雑な構造の鍵を選ぶ。

(イ) 鍵固有のカードがあり、カードと同時に鍵を持っていかなければ、合鍵屋がコピーしてくれないなどの鍵を選ぶ。

- (5) 玄関だけでなく、窓、ベランダへのドア、寝室のドアについても同様の注意をする

